

..... 編集後記

◆クーラーのコントローラーが測定不能の室内温度を示した猛暑もやっと終わりが近づいた様ですが、皆さんはいかがお過ごしですか。

◆つくばでは今年は蝉が鳴かないので、どうしたのだろうかと思っておりましたが、少し涼しくなった今日この頃、林の中がにぎやかになってきました。

◆今月号は地震関連、タービダイト関連、資源関連および地学史関連の記事で紙面を構成しましたので、まず興味のあるページを開いてお読みください。

◆特に、今月号はライマン雑記(12)を読んで見てください。マサチューセッツ大学図書館の副見恭子さんによってライマンと日本人の弟子達との子弟を超えた信頼関係が紹介されています。この身分を超えた信頼関係は未到の山野とともに苦勞して調査に従事したことにおいて成立したもので、自然を対象にした研究者集団ならではのことと思われ、地質学の基本でしょう。昔、大学では1~2週間の長期地質巡検があり、夜は車座になって先生と酒を飲み、専門以外にも多岐にわたる教示を受けたものですが、現在の大学ではどうなのでしょう。

◆この記事の最後に書かれている「Poor Misawa」について若干の私見を述べます。poorには「故人となった」という訳があり、「故三沢」となりますが、「天命に恵まれなかった三沢」と訳しますと、夭折した弟子に対するライマンの心情が伝わって来るような気がします。どう思われますか。

◆ところで、地質ニュースの記事を読んで素朴な疑問を持たれることはありませんか。たとえば七山氏の「アマゾンチャネルと陸上の大河の蛇行率が同等である」という事実についてはどう説明すればいいのでしょうか。また、徳橋氏の「砂岩の粒度が重鉱物組成変化に与える影響は少ない」という事実と「運搬される過程で重鉱物組成は変化し、砂岩の粒度と調和した組成を示す」とする報告との違いをどう解決するのでしょうか。

◆地質学には解決したつもりでも、まだ解らないことが沢山あります。素朴な疑問から新しい地質観が生まれてくると思いますので、疑問があれば事務局までお知らせください。できる限り紙面で回答したいと思います。(有田正史)

地質ニュース編集委員会

委員長：有田正史

副委員長：石井武政

委員：佐藤興平・今井 登・村上文敏・大熊茂雄

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係(山崎 浩・谷田部信郎)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3504

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第505号	1996年	9月号
	定価	¥770	〒実費
1996年9月1日	発行		
編集	工業技術院地質調査所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者	林 光生	
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8		
	Tel. (03)3265-0951(代表)		〒102
	振替口座	00110-6-32466	
	麹町局私書箱	第21号	
印刷	小宮山印刷工業株式会社		

©1996 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の豊ヶ関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。